

[調査会 NEWS 415(18.10.3)]

明日4日の記者会見について

明日の記者会見は予定通り14:00から調査会事務所3階にて行います。内容は以下の通りです。関係各位にはご多忙中恐縮ですが、対応方よろしくお願い申し上げます。

1. マッピングリストの発表
2. マッピングリスト3～6
(医療関係者・電話関係・アベック・印刷関係)
3. 「しおかぜの韻(ひびき)」(仮称・失踪者写真展)についての説明
4. 人権週間の対応についての進捗状況
5. 署名の提出について
6. しおかぜの現状について
7. その他

なお、今回はゼロ番台リストの追加発表はありません。したがって午前中の写真張り出し等も行いません。その代わりに、午後から記者会見会場を使って写真展用の写真の試作品の展示を行います。

[調査会 NEWS 416(18.10.4)

マッピング・リスト(3~6)

本日の記者会見で次のマッピング・リストを発表しました。

マッピング・リスト3 医療関係者の失踪

A 昭和34(1959)年 看護婦希望?(福岡)

安達恵美子 昭和34(1959)年 看護婦(京都)

木村かほる 昭和35(1960)年 看護婦(秋田)

正木冽子 昭和36(1961)年 病院事務(徳島)

B 昭和38(1963)年 医師(北海道)

C 昭和43(1968)年 薬剤師(愛知)

長谷川文子 昭和44(1969)年 看護婦(北海道)

山下綾子 昭和46(1971)年 看護婦(愛媛)

国広富子 昭和51(1976)年 看護婦(山口)

曾我ひとみ 昭和53(1978)年 看護学校生(新潟)

D 昭和54(1979)年 看護婦(山梨)

E 昭和55(1980)年 薬剤師(兵庫)

上田俊二 昭和56(1981)年 医学専門書店勤務(東京)

鈴木清江 昭和57(1982)年 耳鼻科病院事務員(静岡)

山本美保 昭和59(1984)年 看護学校中退(山梨)

加藤悦子 平成元(1989)年 准看護婦(愛知)

保泉泰子 平成3(1991)年 看護婦(愛知)

松井綾子 平成10(1998)年 レントゲン技師(茨城)

永島康浩 平成14(2002)年 准看護師(栃木)

女性看護師の拉致は明らかに「看護婦」を狙ったものと思われるのであえてそう記載した。

マッピング・リスト4 電話関係者の失踪

A 昭和44(1969)年 電電公社職員(大阪・アベック)

加藤久美子 昭和45(1970)年 電電公社の交換手の資格(福岡)

生島孝子 昭和47(1972)年 電話交換手(東京)

峰島英雄 昭和49(1974)年 電話工事(千葉・女性二人と失踪)

市川修一 昭和53(1978)年 電電公社職員(鹿児島・アベック)

加藤八重子 昭和53(1978)年 電電公職員・電話交換手(群馬・同僚も失踪)

本多茂樹 昭和55(1980)年 電話関係の仕事(北海道)

B 昭和58(1983)年 電電公社職員・電話交換機の保守(愛知ないし岐阜)

マッピング・リスト5 アベック・夫婦の失踪

中塚節子・A (未登録)	昭和 38 (1963) 年 (東京・同じ会社の男性と)
B・C	昭和 44 (1969) 年 (大阪・男性は電電公社職員)
園田一・敏子	昭和 46 (1971) 年 (鹿児島・夫婦)
山口浩一・D	昭和 48 (1973) 年 (青森)
遠山文子・E	昭和 48 (1973) 年 (石川)
三浦和彦・波多野幸子	昭和 49 (1974) 年 (福岡)
峰島英雄・関谷俊子・遠山常子	昭和 49 (1974) 年 (千葉)
申相玉・崔銀姫	昭和 53 (1978) 年 (香港・別々に拉致)
地村保志・浜本富貴恵	昭和 53 (1978) 年 (福井)
蓮池薫・奥土祐木子	昭和 53 (1978) 年 (新潟)
市川修一・増元るみ子	昭和 53 (1978) 年 (鹿児島)
F・G (未遂)	昭和 53 (1978) 年 (富山)
安達俊之・H	昭和 56 (1981) 年 (石川)

マッピング・リスト6 印刷関係者の失踪

中村健一	昭和 33 (1958) 年	青写真技術者 (長崎)
中塚節子	昭和 38 (1963) 年	印刷会社勤務 (東京・同じ会社の男性と)
小林栄	昭和 41 (1966) 年	オフセット技術者 (東京)
日高信夫	昭和 42 (1967) 年	印刷工 (東京)
A	昭和 42 (1967) 年	印刷会社営業職 (兵庫)
早坂勝男	昭和 43 (1968) 年	オフセット技術者 (東京)
横田道人	昭和 45 (1970) 年	脱硫技術研究者 (群馬)
B	昭和 48 (1973) 年	印刷工 (東京)
江藤健一	昭和 48 (1973) 年	写真印刷技術者 (千葉)
C	平成 9 (1997) 年	印刷会社勤務 (北海道)

法務省が「北朝鮮人権週間」実施要領

去る 9 月 26 日付で法務省は本年の北朝鮮人権侵害問題啓発週間の実施要領を各自治体に送りました。要領には人権法案成立について説明した上で、「同法第 4 条第 3 項では、『国及び地方公共団体は、北朝鮮人権侵害問題啓発週間の趣旨にふさわしい事業が実施されるよう努めるものとする』とされていることから、同週間を中心に下記の要領に基づいた事業を行うものです。」としています。具体的に記載されている内容は次の通りです。

- 1 名称 平成 18 年度「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」
- 2 期間 平成 18 年 12 月 10 日(日)から 16 日(土)までの 1 週間
- 3 主唱 法務省
- 4 実施主体 国及び地方公共団体
- 5 実施事業
(1)周知ポスターの掲出

(2) 講演会、シンポジウム等の開催

(3) 新聞、雑誌等による広報

(4) その他「北朝鮮人権侵害問題啓発週問」にふさわしい事業

6 強調事項

北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう

[調査会 NEWS 417(18.10.12)

臨時記者会見のお知らせ

下記の通り臨時の記者会見を行います。関係各位には北朝鮮核問題等多忙なところ申しわけありませんがよろしくお願い申し上げます。

日時 10月13日(金) 11:00~12:00

場所 調査会事務所(3F)

内容 日高信夫さんに関する調査経過の報告

マッピングリスト7(核関連等高度な技術を持った人の失踪)の発表

その他

備考 日高さんの地元鹿児島でも同日記者会見を行う予定です。(詳細未定)

[調査会 NEWS 418(18.10.14)

昨日(13日)の記者会見で下記について発表しました。

1000番台リスト(第10次)

日高信夫さんをゼロ番台リスト(拉致の可能性が排除できない失踪者)から1000番台リスト(拉致の可能性が高い失踪者)に変更しました。

<本件に関する経過>

- 8月1日(火) 報道関係者から当該目撃情報について調査会に報告
- 8月4日(金) 日高信夫さんについて記者会見(東京)
- 8月9日(水) 鹿児島で記者会見
- 10月6日(金) 当該目撃者と調査会真鍋専務理事が、韓国にて接触、新たに日高さんの思われる当該人物の特徴について詳細に証言を得た。目撃者の証言内容と、関係者の証言との比較は別紙の通り。比較の結果、目撃証言についての信憑性は極めて高く、1000番台リストとすることに合理的な根拠があると判断

<ご家族からのメッセージ>

今回、改めて目撃者からの情報をいただいて、その人は本人のように思う。今後、家族としても本人が拉致された可能性が濃厚だという認識で、真剣に対応をしていきたい。本人が拉致濃厚であることから、日本政府は責任をもって対処してもらいたい。これまでのように、日本政府の対応が後手後手に回ることのないように強く願っている。北朝鮮に対しては、核実験を行うようなことをやめて、人道的に対処し、拉致被害者を速やかに日本に帰国させて欲しい。これ以上、家族に苦しい思いを続けさせることがないように願っている。

日高万亀男(ひだかまきお) 実弟

*調査会から、マスコミ関係者への要請

日高万亀男さんの体調不良のため、個別のマスコミ対応につきましては、ご遠慮されるようお願い申し上げます。尚、鹿児島でのご家族の窓口は、下記までお願い致します。

木村宏次郎 (救う会鹿児島副会長) 090-5473-4115

<今後の対応>

刑事告発を警視庁(失踪場所が東京のため)に提出することを予定(10月中、日時未定)政府に対して、拉致被害者としての認定を求める要請活動を予定(同上)同時に、特定失踪者ご家族からの署名も政府に提出予定(同上)

< 失踪の経過 >

失踪年月日 1967年(昭和42年)9月頃
失踪当時の年齢 22歳
失踪当時の身分 印刷工
東京都内の印刷会社を退職後か、在籍中に失踪
失踪当時の住所 東京都新宿区水道町 会社の独身寮
出身地 鹿児島県
失踪の状況 ご家族の記憶によれば「新しい仕事が大阪で見つかった」ということで、そのため、会社の同僚が上野駅まで見送ったのが最後の目撃証言という。現在でも、当該の会社の同僚が誰かは不明。また、なぜ上野駅だったのかについても不明。

マッピング・リスト No.7

原子力発電・核兵器・ミサイル開発に関する技術者の失踪

失踪者	失踪年	職業
山下平	1960年	金属加工業
A(女性)	1964年	電力会社勤務
佐藤益一	1970年	日立製作所
荒谷敏生	1974年	北陸建工勤務、日本高周波に勤務
三浦和彦	1974年	松下電器(ラジオ組み立て)アベックでの失踪
高野清文	1976年	電通大学学生(材料学の研究)
B	1976年	鋳型工場勤務
C	1978年	化学会社勤務
D	1979年	川崎航空機に勤務
中島裕夫	1980年	化学の専門化(製粉技術)アベックでの失踪
横山辰夫	1981年	溶接工
河嶋功一	1982年	ロボットアームの研究
伊原照治	1984年	城口研究所勤務、配管工
亀谷博昭	1986年	精工電機 精密機器組み立て
矢倉富康	1988年	マシニングセンター技術者(失踪当時は漁師)ミサイル部品製作に必要な精密機械制御の技術者
石坂孝	1988年	厚生省技官(毒性物質の検査技師)
矢島克己	1989年	埼玉大学大学院(電気物理学の研究)
E	1991年	電気技術者
F	1995年	原発関係の技術者
安西正博	1996年	荏原製作所(ポンプ)の営業

*このリストは、原子力・核・ミサイルに関連する技術や知識を持っている失踪者をまとめたものであり、河嶋功一さんを除いて、現段階で拉致の可能性が濃厚という判断に立っているものではありません。

[調査会 NEWS 419(18.10.18)]

「しおかぜ」写真展松山で開催

現在調査会では「しおかぜ」のメッセージと失踪者（政府認定拉致被害者を含む）の写真を組み合わせたパネルを作成しています。これは12月の北朝鮮人権侵害問題啓発週間に写真展を行うために準備しているものですが、今回その一部が救う会愛媛主催の写真展で展示されます。パネルは製作予定約90枚のうち39枚が本日完成し、直ちに松山に送られました。松山では救う会作成の写真（政府認定者）とあわせて下記の日程で展示される予定です。

今後特定失踪者問題調査会で作成したパネルは説明用のパネルなども整え、「しおかぜの韻（ひびき）」（仮称）として各地で展示を行います。

北朝鮮に拉致された日本人を救出するための写真展

第1会場:フジグラン松山（松山市宮西1-2-1）

期間:10月21日（土）～10月26日（木）（午前10時～午後6時）

*最終日は午後3時まで。

第2会場:愛媛県庁第一別館ロビー

期間:10月23日（月）～10月26日（木）（午前8時30分～午後6時）

*最終日は午後5時まで。

[調査会 NEWS 420(18.10.21)

安達俊之さんの件について

平成 18 年 10 月 21 日

安達俊之さんの失踪について

特定失踪者問題調査会代表 荒木和博

本日、昭和 56 (1981) 年 6 月に、職場の同僚女性と共に失踪した安達俊之さんのご家族・支援者の皆さんが所轄である石川県警鶴来警察署に調査情報を提出した。

本件は当調査会の発表した「マッピングリスト」の 5 (アベック・夫婦の失踪) の最新のケースであり、昭和 53 (1978) 年に拉致された政府認定被害者である地村保志さん・富貴恵さん夫妻、蓮池薫さん・祐木子さん夫妻、市川修一さん及び増元るみ子さん、そして高岡市での未遂事件などとも時期的に近く、注目している。

また、「マッピングリスト」1 (目撃証言) の中にも、安達さんは目撃者を匿名として記載されている。この目撃者について、「フライデー」9 月 29 日号は「『特定失踪者安達俊之さんを見た』証言者は地村保志さんだった!」とのタイトルで、この情報について地村保志さんが父親の保さんに語ったものと報道している。

マッピングリストに記載した目撃情報は基本的に「フライデー」の記事の通りである。ただし、同誌の発行前に地村保志氏から荒木宛に「自分は目撃していない」との連絡が直接あった。

その後当局の帰国者 5 人に対する聞き取りで、「記憶していない」との回答に変わっている。話を聞いた人間の受け取り方によってニュアンスが異なる場合もあるので、厳密には分からないが、少なくとも、絶対に見ていないと否定しているわけではないと理解している。したがって、調査会としては、マッピングリスト 1 への掲載は今後も継続する。

あわせて、この場を借りて帰国者の皆さんに要望したい。直接・個別にマスコミ、家族会や特定失踪者家族、支援者などに会い、取材、聞き取り等に協力していただくよう、切に願います。特殊な事情があることは理解できないわけではないが、このような情報統制を続けていることは自由民主主義国家として異常である。

また、帰国者 5 人は「警察にはすべて話した」と言っているのだから、警察及び関係当局もこれを可能な限り明らかにしていただきたい。「捜査の障害になる」というのが公開できない理由ではあろうが、現在拉致問題について捜査権のあるのは警察だけである。そして情報を出さない状態で、政府認定者はわずか 16 人にしかならない。北朝鮮が拉致を認めた 9.17 第一次小泉訪朝以後でも、田中実さん 1 人である。

当局には「認定した人が拉致でなかったら」という思いがあるのだろうが、当然ながら「拉致被害者を見つけられなかった」責任も問われることを忘れてはならない。曾我ひとみさんの拉致を 24 年間気づかず、北朝鮮に言われて知ったという失態について、まだ政府機関の誰も責任をとっていないことを、私たちは忘れた訳ではない。今後、「証拠がない」という理由で拉致認定しなかった人が拉致であると分かった場合、当然厳しく責任を追及されるべきであることは明らかである。

調査会としても、安達さん及び同僚女性の失踪については、重要な事件だと考え、ご家族及び地元支援者、関係機関とも連携の上、新たな情報の掘り起こしをしていきたいと考えている。1000 番台リストへの切り替えもその線上で検討していきたい。

[調査会 NEWS 421(18.10.23)]

古川了子さんの認定を求める訴訟で安明進氏証言

古川了子さんの拉致認定を求める裁判の次の法廷は、以下の通り行われます。古川さんを915病院で目撃した安明進氏がお姉さんの竹下珠路さんと共に初の証言を行います。安さんの法廷での証言はもちろん今回が初めてです。

日程 11月1日(水) 15:00 ~

今回は抽選での入場となります。東京地裁玄関前の「2前」に14:40までに並んだ方に抽選券が交付されるということです。傍聴希望の方はこの前までに東京地裁においでください。

場所 東京地裁(霞ヶ関)

内容 証人尋問 安明進氏(元北朝鮮工作員・古川さんの目撃者)
竹下珠路さん(古川了子さんの実姉)

なお、終了後(16:30前後)、記者会見を兼ねた報告会を開催の予定です。決まりましたらあらためてご連絡します。

調査会定例記者会見

次回の定例記者会見は下記の通り行います。よろしくお願ひします。

日程 11月6日(月) 14:00 ~

場所 調査会(3F)

内容 新たなマッピングリスト発表
「しおかぜ」への政府の支援について
他

なお、最近、「しおかぜへの政府の支援が決まって良かったですね」とのお祝い(?)のお電話をたびたびいただくのですが、実はまだ具体的なことは何も決まっています。こちらからの要請はしていますが、何についてどう実現するかはまだ未知数です。政府も政府なりに努力はしてくれているようですが、いずれにしても、現在の英国経由の放送は当分続けなければなりません。ご理解及びご協力賜りますようお願いいたします。

P R

調査会代表荒木の新著が上梓されました。書店への配本は月末頃になると思いますが、拉致問題を通じて考えたことなども書かれていますので、ご関心のある方はご一読いただけると幸いです。

『内なる敵をのりこえて、戦う日本へ』(草思社刊・税込1,470円)

安達俊之さんに関する談話について

21日に発表した安達俊之さん失踪に関する代表荒木の談話の中で、所轄署に調査情報を提出したとの記載がありましたが、これは現地支援組織からの連絡の受け間違いで、諸般の事情により情報提出は後日に延期されたとのことです。お詫びして訂正します。他の部分、つまり安達俊之さん失踪に関する認識等については変化はありません。

[調査会 NEWS 422(18.10.25)]

古川裁判での報告会兼記者会見について

報告会兼記者会見は法廷終了後、東京地裁隣(日比谷公園側)にある『東京弁護士会館』の5階507号室で行います。16:30頃開始になると思いますが、若干前後する可能性もありますので、こちらのみに参加の方は余裕をもっておいで下さい。

「しおかぜ」の今後について

荒木和博

「政府の援助が決まってよかったですね」

先日来、ずいぶんたくさんの皆様からお祝い(?)の電話やメッセージをいただきました。取材もずいぶん受けましたし、しまいには外国のマスコミからも「日本政府が支援することになったそうですが」と電話インタビューがありました。

ところが、こちらの答えは情けないことながら「まだ何も決まっていななんです」というだけなのです。また、NHKの「命令放送」についても報道ばかり飛び交っていて誤解があるようです。混乱するといけないので、調査会の代表としてコメントをしておきたいと思います。

(1) 送信施設の利用について

茨城にあるKDDIの送信施設の利用についてはとりあえず総務省に要望を出しており、可能かどうか検討をしてもらっています。結論はまだ出ていません。ただし、これが可能になったとしても、手続きを終えて実現に至るのは、私の感触では数ヶ月先(おそらく来年度中)と思われます。総務省の担当の皆さんは熱心に対応してくれていますが、いずれにしても直近の状況には間に合わないのと、できるようになったとしても現在の英国経由の放送をこちらに変えるのではなく、プラスアルファする形になると思います。また、やるとなれば当然ながら送信施設は民間企業であるKDDIのものですから、費用負担の問題も出てきます。

(2) NHKの「命令放送」について

これも憶測ばかりが飛び交っているようですが、「拉致問題についての番組を増やす」という問題であれば、私たちが直接関わることはありません。また、私たちは「命令放送」としてNHKで「しおかぜ」を流してもらいたいとは思いません。ただし、北朝鮮の体制崩壊時の「拉致被害者の皆さん、に避難してください」というような緊急放送は命令放送でやっていただくしかないと思っています。もちろん、現在の「しおかぜ」も緊急放送に使います。

(3) 現在の英国経由の送信について

私自身が年内解決を公約しており、北朝鮮の現状を見ても状況は切迫していると思います。したがって、現行の放送は当分の間従来通り続けます。現在朝の第1放送にかかっている妨害電波の対策として、周波数変更や時間の変更はあり得ますが、放送は維持し、さ

らに内容の充実をはかります。

総務省・内閣府をはじめとする政府・与党関係者の皆さん、民主党及び拉致議連の役員の方々には今回大変ご尽力をいただいております（あまり政府を賞めない私がそういうのですから間違いありません）。ただ、現実問題としては、緊急時の命令放送による避難指示などを別にすれば、即効性のある対応は難しいと思います。もちろん、今後も協議は続け、できるだけ拉致問題解決にプラスになる方法を探していきたいと思えます。

したがって、調査会の費用負担は今後も少なくなることはありません。政府には中期的な対応もさることながら、直接の手当をしていただければありがたいのですが。自民党総裁選の頃、「調査会は今も財政的に破綻していて年内もたないらしい」という噂が永田町だか霞ヶ関で流れていたとの話がありました。全くその通りで、自転車操業というより、一輪車操業に近いのが現在の調査会です。ただ、これは今に始まったことではなく、創立当初から4年近く、常にそうなのですが。

いずれにしても調査会としては、今後も現行の「しおかぜ」放送を継続・強化しながら、情報発信のみならず「しおかぜ」プロジェクトとして北朝鮮からの情報収集を積極的に行って参ります。また、北朝鮮にビラを送る「バルーンプロジェクト」もできるだけ早くスタートさせる予定です。したがって今後も現在以上の経費が必要になります。各位におかれましては一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます次第です。

[調査会 NEWS 423(18.10.31)

「しおかぜ」周波数変更

と言っても、もう変わってしまっているのですが、去る29日の放送から第1放送(5:30~6:00)は9645KHz、第2放送(22:00~22:30)は9730KHzに周波数に変更されています。英国の放送配信会社、VT社からは連絡はありませんでした。まあ、自由北韓放送の金ソンミン代表によれば、北朝鮮で隠れてラジオを聞く人はチューニングを回して行って、つかまったところのものを聞くそうです。周波数を覚えるわけではないので、ずれるのはそれほど問題ないとのことですが、ともかく国内でお聞きの方にはご迷惑をおかけしました。

なお、2ちゃんねるには「しおかぜ」実況の掲示板があるのですが、そのの皆さんも心配してくださいました。さまざまな方面からのご協力に感謝申し上げます。まだ先方の詳しい状況がわからないのですが、新しいことが分かりましたらまたお知らせします。